

令和7年度 第2回 内子町教育改革懇談会の協議結果（概要）	
開催日時	令和7年8月5日（火） 18：55～20：55
出席者	委員：13名（1名欠席） 事務局：4名
協議事項	(1)学級編制及び教職員数の推移について (2)意見交換
協議内容	(1)学級編制及び教職員数の推移について →【事務局から】 令和7～10年度までの児童生徒数及び学級数、教職員数の推移を資料に沿って説明。 (2)意見交換 ※具体的な学校名は記載していない →【委員】 (小学校) ・統合すると地域が寂れるという意見もあるが、統合することでコミスクの活動等で内子地区の児童が他の地区を知る機会が新たにできて良いと思う。 ・ある地域で1校にし、段階を踏んで改めて再編を考える。移住者を募集するにあたり、選択肢として保護者は学校の有無が頭にあり、学校が無くなった場合は今より人口減少が進んでしまうのではないかと懸念する。 ・コミスクやふるさと教育の観点から、大瀬小田地区に1校、内子地区に1校、五十崎地区に1校ずつが望ましい。移住者や地域の活性化が見込めるような地域はもう少し時間をおいて考えた方が良いのではないか。 (中学校) ・中学校の複式学級は解消すべき。 ・部活動地域移行で放課後には生徒が移動しているため、中学校は令和10年度までには1校に再編したら良い。 ・中学校は2校に再編。 <u>(意見交換後、導き出された今後の方向性)</u> ・小学校は、令和10年度までに町内3校となるように再編する。 ・中学校は、令和10年度までに町内1校となるように再編する。
協議結果	○今回の協議結果をまとめ、最終答申案の具体的な内容について次回の懇談会で協議する ○次回懇談会を9月末頃開催